

令和7年度

入善町立入善小学校

令和8年2月20日



学校だより

学校の教育目標 「じりつする子供の育成」



自ら学ぶ子 大切にする子 やりぬく子

小学校教育研究会体育科研究推進校

にらめっこがいいと思う

校長 内山 真之

保育所のあるクラスで劇をやることになった。多くの子が主役をやりたがるから、配役がなかなか決まらない。困った先生が「どうやって決めたらいいと思う」と尋ねたら、子供たちから「じゃんけん」「くじびき」といろんな案が出た。そんな中、ある男の子が「僕はにらめっこがいいと思う」と言う。「どうして、にらめっこがいいって思うの?」と聞くと、その子は、大きな黒目を真っ直ぐに先生へと向けて、「だってさあ、にらめっこだったら、負けた子が笑っているでしょ」。この子は、みんなが主役をやりたがっており、なれなかったら悲しむこともわかる。みんなの気持ちをまるく収める手はないかと状況を考え、「にらめっこ」を提案した。見事な問題解決力です。こういう子を学校でも、育てたいと思っています。

しかし、これは「学力」なのでしょうか。学力とは、ちょっと違う感じがします。日本の教育は、「学力」偏重から「資質・能力（コンピテンシー）」の育成へと大きく転換しました。「資質・能力」は、「①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③学びに向かう力・人間性」の3つの柱を挙げています。「にらめっこ」の男の子には、知識も思考力も豊かな人間性も感じられます。難しい問題を解く「学力」があるても、つまずいたらあきらめるのであれば、そこまでです。根底となる意欲や粘り強さ、協調性、GRITといった非認知能力の大切さは、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックのオリンピアンの姿に実感させられます。

6年生を送る会、素敵な時間でした。どの学年の演技も取り組む姿勢も素晴らしいです。練習から、少しずつ、あるいは劇的に変化していく子供たちの姿に、とても感動しました。4年生の日記には、「冬休み明けにみんなで練習しても、私は上手くいかなくて心配したけど、何回も家や学校で練習をあきらめずになると、本番は上手くなれた気がしました。成長できたかもと、初めて感じられました」。たくさんの「やってよかった」に溢っていました。こんな感想もありました。「5年生の姿を見て、来年5年生みたいにしっかりとした高学年になりたいと思いました」。目指すもの、取り組むことがあることで、非認知能力もぐんぐん刺激されます。さあ、いよいよ新しい春が近づいてきました。



※ 保育所のエピソード 奈須正裕『時代の学びを創る知恵とワザ』ぎょうせい.2020.参照

1月 29 日～30 日 5年生 冬の宿泊学習



子供たちには、「入小じまんの体験学習」と話しています。現在、夏にも冬にも宿泊学習をしている学校は、近隣の市町にはありません。冬は、入小にしかない宿泊学習です。1日目は、インストラクター講習によるアルペンスキー学習、夜はキャンドルサービス。2日目は、立山青少年自然の家での雪中活動。今回は、雪の森をスノーシュー（西洋かんじき）を履いて、スノーハイクしました。雪が多く、新雪の深雪をたっぷり味わいました。

2月 7 日 自卑同窓会 第52回「42歳祝賀会」



入善小学校後援会「自卑同窓会」が主催の「第52回 42歳祝賀会」が、2月7日(土)、本校ランチルームで開催されました。平成9年度入善小学校卒業生25名、3名の恩師をお迎えして、開催することができました。幹事さんのご活躍により、心のこもった演出があり、温かい会となりました。ご尽力いただきました幹事の皆さんに、感謝申し上げます。

42歳同窓生有志の皆様から、短焦点プロジェクター、プロジェクター台をセットで入善小学校にご寄贈いただきました。子供たちのために大切に使わせていただきます。

2月 13 日 5年生 入善高校生の授業

入善高校生が栽培された「富富富」を、本校の給食に提供していただきました。「JA全農とやま」様の企画で、入高生が5年生に「富富富の特徴や栽培方法」についての説明をしてくれました。積極的な質問もあって、とても学び深い時間となりました。本校は、年間を通して、入善高校農業科の皆さんといろんな活動をしています。



2月 20 日 4年生 箏鑑賞・体験会

4年生を対象に音楽科の授業として、「箏(こと)鑑賞、琴体験」を実施しました。講師は、美桐(よしきり)会の皆さん。演奏を聴き、実際に琴を一人ずつ体験させてもらいました。実際に演奏できたことは、本当にいい体験学習でした。子供からも「とてもきれいな音。習ってみたい」という感想が聞かれました。美桐会の皆さん、ありがとうございました。

